

当協会ホームページ(会員ページ)にて カラー版「瓦版」を公開しております。会報「KANAGAWA」のページをご覧ください！



〈今後の講習会等開催日程のお知らせ〉

～各講習会等の詳細はホームページ(URL: <https://www.j-kana.or.jp>)よりご確認ください～

※講習会等行事は、状況により、延期・中止または規模を縮小しての実施となる可能性がございます。



委員会主催 講習会等

～すべて ZOOM を使用した WEB 講習となります～

オンライン申込はこちらから ⇒ <https://j-kana.net/>

◆マンションの長期修繕計画 キャッシュフローのポイントを学ぶ 講習会

日時: 令和3年9月1日(水) 10:00～11:50(予定)

内容: ・長期修繕計画作成のポイント・キャッシュフロー

- ・機械式駐車場の更新、安全基準ガイドラインの紹介
- ・自動ドアの更新、安全基準ガイドラインの紹介
- ・賛助会商材の提案、委員会活動報告

※「マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所」必修研修

法定講習

～詳細は当会HP内「法定講習」ページよりご確認ください～

⇒ https://j-kana.or.jp/office/office_training

◆令和3年度 第2期 管理建築士講習

日時: 令和3年9月16日(木)

場所: 神事協会議室



全国大会

◆第44回 建築士事務所全国大会(熊本大会)

日時: 令和3年10月1日(金)

場所: 熊本城ホール

※8/20 更新: 中止となりました。

お知らせ

例年実施しております地引網大会については、会員皆様の健康を第一に考え、誠に残念ではございますが、昨年度に引き続き、今年度の実施は中止とさせていただきます。

本記事は7月21日時点の情報をもとに編集しております。

資格講習

※申込要項等は神事協HPよりご確認ください。

※8/17 更新: 日程・会場変更に伴い、記載を変更しました。

◆既存住宅状況調査技術者(更新)講習・適合証明技術者講習

日程: 令和3年11月24日(水)

場所: 神奈川中小企業センター 13F 第一・第二会議室

時間: (既存)受付 9:30～ 講習 10:00～13:10
 (適合)受付 13:30～ 講習 14:00～18:00

申込受付期間: 9月1日(水)～9月30日(木) 必着

同日・同会場にて2講習を実施いたします。

2講習あわせての受講がおすすめです！

詳細:

既存住宅状況調査技術者(更新)講習

対象 令和4年(平成34年)3月までの有効期限のかた

※既存講習会は、「更新」講習となります。受講時点で、資格が有効期限内である方に限り受講可能です。

⇒新規で受講されるかたは、オンライン講習を受講下さい。 <https://www.njr.or.jp/inspection/online/>

適合証明技術者講習

※既存住宅状況調査技術者であることが登録時の要件となります。⇒お持ちでない場合は、上記オンラインの「新規」講習を受講下さい。

(参考: 日事連 HP 内) <https://www.kyj.jp/ntj/hope.html>

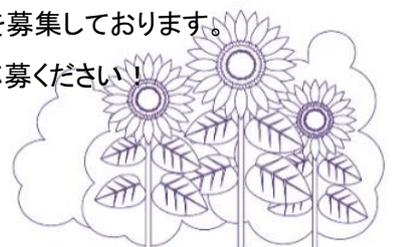
◆◆広報誌への情報提供・寄稿のお願い◆◆

表紙写真のほか、「建築探訪」・「会員仕事紹介」・「旅行記」等、原稿や記事になる情報を募集しております。

事務局まで”どしどし”ご応募ください！



裏面記事もご覧ください！





【旧広報情報委員会から新広報情報委員会へ

そして会報誌編集特別委員会へ】

さる令和3年7月16日の第4回理事会において定款施行細則改定の一部改訂があり、戦略企画委員会が廃止され当該役割・機能を新「広報情報委員会」、「ブロック支部委員会」、「統括委員長会」へ移行することが承認されました。

「広報情報委員会」の名前が常設委員会で踏襲され、新旧の名称が混乱を呼んでいるので、ここでご説明します。

まず今まで広報情報委員会が主として役割を担ってきた「会報誌の編集発行」、「瓦版の編集発行」は、新たに発足した、「会報誌編集特別委員会」の機能として存続されます。

新「広報情報委員会」は

- ・ ホームページの戦略的な運用と会員の役に立つ有効活用の推進
- ・ **Twitter** 等の有効活用
- ・ 専用パンフレット作製による会員、一般ユーザー、行政に対する
アピール強化

等を活動の軸としてその名の通り 広く情報を内外に発信する委員会として新たに発進します。

そして

- ・ 戦略的な実行部隊として広く情報発信に努める
- ・ 神事協の魅力を伝え、知名度アップのための広報宣伝に努める
- ・ (仮称) 会員サポートセンターの設立と普及促進に助力する

ことを主眼としています。

また会報誌「KANAGAWA」と瓦版は「会報誌編集特別委員会」がより魅力ある紙媒体の情報誌となるように新たな意気込みを持って継続活動して参ります。

